

学校支援活動事業訪問

国見町訪問【国見町立国見小学校】

訪問日：平成30年11月7日（水）11：25～12：10

場所：国見町立国見小学校

内容：「しめ縄作り体験」での学習支援ボランティア

国見町在中のボランティアの方々7名の協力により、5学年の「しめ縄作り体験」の授業が行われました。学校開放の一環で、学年行事も兼ねていたもので、親子で協力して和気あいあいとしめ縄作りに取り組むことができました。保護者の世代でも、しめ縄を作った経験がない人がほとんどだったので、ボランティアの方々は大演を交えながら丁寧に作り方を教えていました。親子で、力を合わせて作り上げたしめ縄を見て、どの顔にも笑顔と充実感があふれていました。



【校長先生の声】

今日のように、地域の方々が支援してくださることにより、しめ縄作りをはじめ、神楽の体験、琴や尺八の演奏など、学校だけではなかなかできない教育活動が可能になっています。また、学校で体験活動を支援してくださっていることにより、子どもたちが地域の文化に興味を示すようになっていきます。体験活動の充実とともに、地域文化の継承にもつながっていると思います。学校支援活動を、若い世代の方々にも広げていくためにも、今日のような親子での体験はよいきっかけになると思います。

【保護者の声】

地域の方々が子どもたちの活動を支援してくださることは、大変良いことだと思います。地元の方とのふれあいを通して、学校や家庭ではなかなか味わえない経験ができました。私もしめ縄作りは、初めての経験でしたが、実際にやってみると難しかったです。親子で、地域の文化に触れることができました。

【ボランティアの方の声】

地域の文化を継承していく人材を育てたいと考えて、子どもたちにしめ縄や神楽などの伝統文化を伝えています。しめ縄は、地域のお祭りで毎年必要になります。子どもたちが成長して、お祭りを担う年代になったとき、今日の体験が生かされてくると思います。子どもたちが後継者として活躍してくれることを願っています。

学校支援活動を次世代につないでいく必要があるとコーディネーターの方が話していました。そのためには、保護者の世代をいかに取り込んでいくかがポイントになっていきます。今回、学年行事を兼ねて親子一緒にしめ縄作りの体験を行ったことは、学校支援活動に対する保護者の意識を高める上でも、有効な取組だったと感じました。

